



第1学年 富士ワークキャンプ

富士WCについて

私たち1年生は10/23～10/25の3日間、富士ワークキャンプとして山梨県・静岡県へ行き、探究活動を行いました。

国際教養の3本柱に沿った**人間理解**・**国際理解**・**理数探究**の3コースに分かれ、探究班ごとにテーマを設定し、RQに答えるためにインタビューなどの調査を行いました。

	23日(水)		24日(木)	25日(金)	
	①	②		①	②
人間理解	ふじさんミュージアム	東園寺(忍野八海)	学びの森	北口本宮浅間大社	世界遺産センター
国際理解	東園寺(忍野八海)	世界遺産センター		新倉山浅間公園	ふじさんミュージアム
理数探究	忍野八海	世界遺産センター		富士山科学研究所	レーダードーム館

富士WCを通したResearch Question

「人は自然とどのように関わるのか？」

人間理解

なぜ自然を守り、そこで人々はどのように生活しているのか

1日目

ふじさんミュージアムでは、富士山に登山する大変さと富士山の恵みについて考えた。

東園寺では、富士山と忍野八海の間がりとその歴史について住職の方からお話を聞いた。また、観光客への対応についても学んだ。忍野八海が存在によって噴火の被害を受けずに済んだことを知った。

2日目

実際に富士山と仕事で関わっている人たちへインタビューし、富士山の魅力だけでなく、富士山の自然を守りつづける努力を実感した。そして、コドラート調査と毎木調査を通して、富士山に生息する自然の様子を知った。

3日目

北口本宮富士浅間大社では、神社の境内をまわりながら現地の方から祭りなどに関する話を伺った。また、ご神木、鳥居や灯籠も実際に見ることができた。富士山世界遺産センターでは富士山の研究を行っている方に富士山が世界遺産に登録されるまでの経緯や、生息する動植物の展示を見た。

国際理解

どのように自然と向き合い、どのように文化として形成したのか

1日目

東園寺では、お寺の中で住職の方に忍野八海周辺の歴史を学んだり、事前に考えておいた質問を聞いたりして歴史との関わりを考えた。

世界遺産センターでは、和紙で作られている大きな富士山を見ながら学芸員の方の説明を聞き、地形との関わりを考えた。



2日目

富士山の特有の自然についてコドラート調査やRQに沿ったインタビューをした。観光客などによって富士山には観光客が増える、その代わりに放棄されたゴミや人工物により富士山の自然に影響が出ていることなど知れた。

3日目

ふじさんミュージアムでは、富士山のプロジェクションマッピングやお祭りの動画、富士山に登るような気持ちになることができたり、富士山への現地の方の思いや活動について知ることができた。新倉山浅間公園では観光客にインタビューをして、富士山にきた目的、どのように知ったかなどを聞くことができた。

理数探究

自然を守るために、どう科学的に関わっているのか

1日目

忍野八海では、外国人観光客の方に投げ銭をはじめとしたごみ汚染問題についてインタビューを行った。オーバーツーリズムなどが自然に与える影響について考えることができた。世界遺産センターでは、富士山がもたらす自然現象について、富士山を守っていくことの大切さが学べた。

2日目

グループでコドラート調査をしたり各自で専門家の方にインタビューを行った。オオカミが絶滅したことにより当初よりシカが増え、シカなどによる獣害から植物を守るために個体数を減らすなど対策をしていると知った。また、富士山の中でも標高や地質によって植生や動物の分布が異なることを知った。

3日目

富士山科学研究所では、富士山についての話を聞いた。富士山は噴火→溶岩が固まる→穴開く→土砂崩れ→穴埋まり綺麗を何万年もかけて繰り返しているということを知った。富士山レーダードームでは、富士山の特徴的な雲が及ぼす影響や富士山の気候やレーダードームの活躍について学んだ。



まとめ

私たちは富士ワークキャンプで様々な事を学んできました。特に**社会性スキル**、**振り返りスキル**を学ぶ事ができたと思います。

3日間を通して事前学習で調べきれなかった事を実際に行き、地元の方にインタビューをし、学ぶことができました。また、今まで仲の良かった子ともしっかりと仲を深める事ができたり、あまり話したことの無い子と話してみたりと、集団生活を通して社会性スキルを育むことができました。

振り返りスキルでは、日中に学んだことを振り返り、グループで話し合いながら、班の探究テーマに繋がるような事を考えることができました。